

リハビリテーション連携手帳のお知らせ

「リハビリテーション連携手帳」は、平成25年度山形県在宅医療推進モデル事業の助成のもと、県民の皆様に対する継続したリハビリテーションの提供を促進するために、リハビリテーション専門職三団体が作成いたしました。

Q1. 「リハビリテーション連携手帳」って？

- 病院が変わったり、老人保健施設に入所したり、在宅でリハビリテーションを受けることになった際に使います。
- リハビリテーションを開始する時と終了するときに、リハビリテーション担当者が記入してください。

リハビリテーション 連携手帳

～あなたのリハビリを地域でつなく手帳です～



お名前

Q2. どんな時に使うの？

- 利用者がいつ・どこで・どのようなリハビリテーションを行ってきたのかを記録しておく手帳です。
- 病院退院後、継続的にリハビリテーションが必要な場合や、再度入院になった際に、どのようなリハビリテーションを行っていたのか情報共有するために使います。

Q3. 使うとどんな効果があるの？

- 利用者が目標や状態を把握でき、リハビリテーションに意欲的に取り組めるようになった。
- 施設職員やケアマネジャーに送る際に、わかりやすく伝えることができる。
- 医療から介護へ移行した場合の経過やサービス内容を簡潔に知ることができる。
- 入院時の状態と在宅時の状態を比べることができる。

平成30年度・31年度のアンケート調査からの抜粋

リハビリテーション連携手帳に関するお問い合わせ、
連携手帳送付のご希望は下記連絡先までお願いいたします。

山形県理学療法士会 職能局 リハビリテーション連携手帳担当
gyoumusuisin.ygt.pt@gmail.com

①所属施設、②担当者氏名、③連絡先、④郵送先、⑤希望冊数をご記入ください。